

実施計画事業名		漁港整備事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		建設産業部 港湾課		課長(主幹)名	栢田 紀行			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化					
	施策	1	安全で良質な水産物の供給に努めます					
	関連施策	なし						
現状と課題	漁港は市内に7つ存在し、水産物供給と地域振興の基盤として、また近年では都市漁村交流や観光(抜海のアザラシ)などの機能も併せ持つなど、重要な役割を担っているが、施設の老朽化による機能低下、漁港施設の慢性的な不足による作業効率の低さが課題となっている。漁港施設の整備は国または管理者である北海道が主体となって進められている。市では、事業費に対する一定割合の負担や、市有地の整備などを行っていく必要がある。漁港公園については、市が設置し管理を行っているが、整備されて10年以上経過したトイレが5施設あり、維持費の増加が見込まれる。							
目的	漁港整備による漁業生産活動の向上、水産物の安定供給および漁業地域の活性化と、漁港公園の適正な維持管理による良好な環境の確保							
5ヶ年展開の	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設(物揚場・船揚場・道路・用地等)の整備事業に対する負担金 (係留施設: 事業費×8/60、施設・道路・用地: 事業費×9/60) 平成21年度 宗谷漁港清浜地区 船揚場30m 平成22~23年度 東浦市道整備150m 東浦漁港 用地取得、道路整備220m ・漁港公園の維持管理 							
成果指標	名称		単 位		21 年度	22 年度	25 年度	
	漁港整備箇所数		箇所	目標	3	2	1	
説明	整備事業を実施した漁港の数			実績	3	2		
活動指標	名称		単 位		21 年度	22 年度	25 年度	
	漁港公園の開園日数		日	目標	1,160	1,160	1,160	
	説明	漁港公園5か所(東浦、抜海、清浜、声問、恵山泊)の延べ開園日数		実績	1,160	1,133		
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
説明			実績					
事業費の実績		単 位	21 年度 (決 算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予 算)	備 考		
	直接事業費(A)		千円	16,063	7,391	6,158		
	国庫支出金		千円	0	2,478	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起 債		千円	10,237	0	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	5,826	4,913	6,158		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.57	0.32	0.32		
人件費(B)		千円	3,948	2,173	2,173			
計(A+B)		千円	20,011	9,564	8,331			
状況変化	<p>実施計画当初(平成21年~)からの状況変化</p> <p>東浦漁港整備事業の用地取得について、開発局の測量等の進捗が若干遅れ気味であり、用地取得が平成24年度以降になる見込みである。また、声問漁港の整備もh23年度から北海道において実施される見込み。</p>							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 稚内・宗谷の両漁組からのヒアリングを実施し、国・道への要望を行っている。
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 経費削減を実施してきているので、最大限の効果をj得ている。
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 漁港行政について、水産商工課との調整を部内で図るも現状のままとなっている。しかし、水産行政を一元化することにより、効率化を図る必要がある。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--